

アスベスト対策充実求め木浦市長に具体的な提案

日本共産党上越市議員団

日本共産党上越市議員団は一日、木浦上越市長にたいして「アスベストによる健康被害防止に関する申し入れ」を行いました。あいにく市長・助役は公務で不在でしたので、担当の田村博健康福祉部長が応対しました。議員団側からは杉本、橋爪両議員と上野事務局長が参加しました。樋口議員は公務出張中(別項参照)。

上越市議員団の申し入れは、上越市の行政施設については一定の対策が取られ、それらが公開されていることを評価した上で、市民の不安を解消し、民間建物等にも対策を講じる必要があることから、全国各地の先進的な取り組みに学び、相談体制の整備、健康対策、建築物等の対策、民間施設についての対策の充実を図り、国県への対策改善の要望働きかけを求めたものです。

具体的には、相談体制の整備については、アスベストによる健康被害や建物の相談が一ヶ所できるように総合相談窓口の設置を求めています。相談によって、専門家の派遣が必要になった場合の支援や、「アスベスト詐欺」に対して啓発予防措置をとることを要求しています。

健康対策の実施については、アスベスト使用建築物に入りしていた人、以前アスベストを取り扱っていた人を行政として調査し、国県市の支援制度の説明や相談を実施すること、住民のアスベスト関連疾患の早期発見をはかるため、住民健診、事業所健診等の際に、希望者の申し出により、アスベストに関する項目を実施すること、アスベスト肺診断、胸部CT健診を希望する市民への助成制度を創設することを要望しました。

建築物等の対策では、行政が管理する施設のみならず民間施設、特に私立の学校、幼稚園、保育園、病院、福祉施設及び市が出資する第三セクターなどについては、行政施設と

同じスタンスで対応するよう求めています。民間施設がアスベストの使用の有無を調査するにあたっての相談窓口の整備・充実をはじめ、民間施設がアスベストの有無を調査する場合の補助制度の創設、アスベストの使用が明らかな建物の解体について、解体業者に対して適正処理を徹底すること、アスベスト対策で休業した場合、従業員に対して休業補償をするよう指導すること等、きめ細かく提案しました。

田村部長は、「やるべきことは山ほどあるが、まず市が管理している施設について、国の対応策を待たずに先手、先手と対応してきました。(いろんな支援措置をするにしても)問題はお金がかかることだ。国、県に対する要望は当然だ」とのべました。



申し入れをする杉本敏宏議員、上野公悦事務局長、橋爪法一議員(向こう側、左から)

樋口議員は1日、2日と、所属する厚生常任委員会のメンバーとともに東京都中央区などへ視察に出かけています。

樋口議員は福祉複合施設視察

今回の視察目的は教育・福祉複合施設の取り組みについて学ぶことにあります。樋口議員は、現地から、「学校と特別養護老人ホーム、それに保育園まで一緒になっているのを見てびっくりした。複合施設の良し悪しやあり方については今後も研究してみたい」と報告してきました。

来週は橋爪議員が、地域産業対策特別委員会の視察で山形、福島両県に出かけることになっています。



左の写真はダイモンジソウ。吉川区で十月二十九日撮影。

日本共産党上越市議員団ニュース

28 2005年11月6日

連絡先	杉本敏宏	5 2 4 - 3 7 8 7	(東本町5)
	樋口良子	5 4 4 - 6 8 0 2	(中門前3)
	橋爪法一	5 4 8 - 3 6 2 8	(吉川区代石)
事務局長	上野公悦	5 3 0 - 2 2 0 3	(頸城区中柳町)